

WedsSport CELICA 2007 作成手順

(写真品質が悪くてすみません、携帯のカメラしか持って無いので……。また、私は車に詳しい訳ではないのでパーツ等の呼び名が違っていたらすみません。)

以下、手順です。

型紙を L 判用紙で印刷します。

型紙と捨て紙をラミネートフィルムに挟みラミネートします。

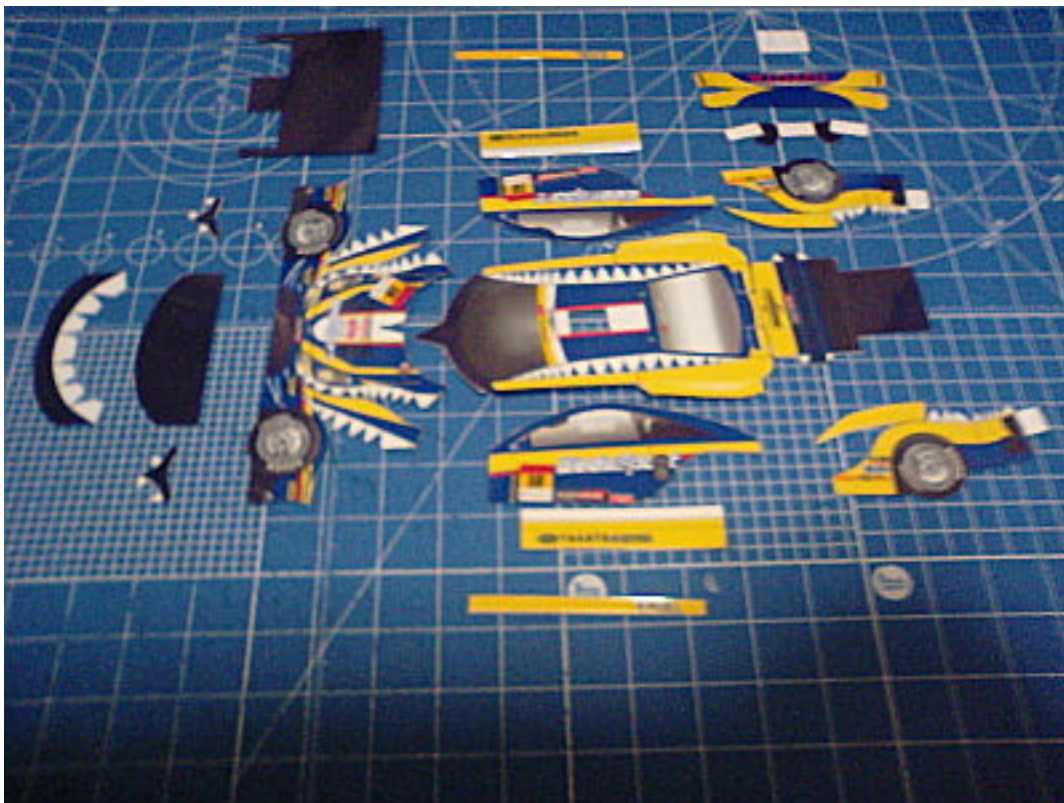


端を切り落として、捨て紙を外します。

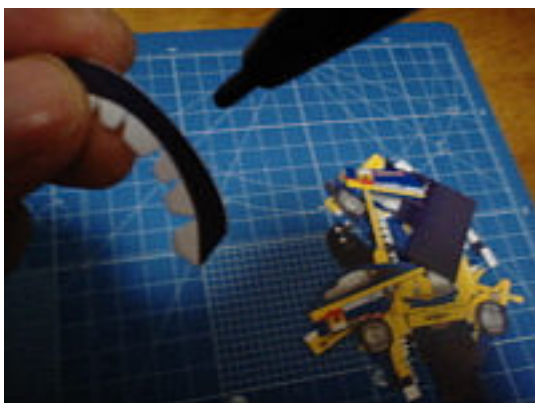


型紙を切ります。

切った状態はこのような感じです。切り抜き後の余った紙は、後で使うので取っておいて下さい。



各パーツの切り口を適当な色で塗ります。



私が組み立てに使用している道具一式です。接着について 3 種のテープ(セロテープ、両面テープ(ニチバン ナイスタック プラスチック用強力タイプ NW-PK15)、透明テープ(住友スリーエムスコッチ 透明美色))を使うところが特徴でしょうか。



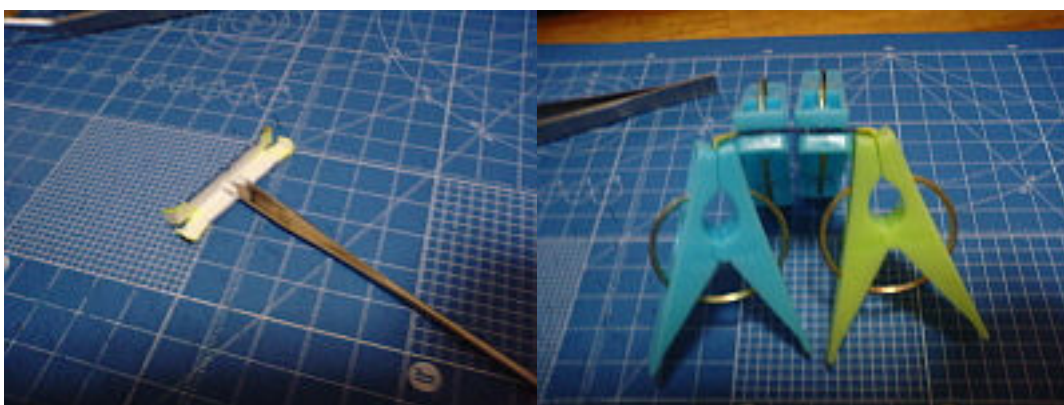
まず、裏(ラミネートしていない面)同士を貼り合わせるパーツから組み立てます。リアウイング及びステー、カナード(前についている小さなエアロパーツ)です。接着には木工用ボンドを使用しています。接着後は洗濯バサミ(はさむ部分に突起が無いもの、100 円ショップでたくさん入っているのが売っています)ではさんで固定し、ドライヤーで熱風を当てた後(私のドライヤーだとだいたい 10 秒から 20 秒といったところでしょうか)、冷風に切り替え冷やします。加熱によりラミネートが少し溶けていったん柔らかくなり、冷えて固まることにより形状が固定されます。

私はこのドライヤー加熱による形状固定をほぼすべての組み立て工程で使用しています。特に微妙な形状の調整などには欠かせません。ドライヤー加熱については、以降特に注意すべき部分のみは記述していますが、それ以外でもすべてこの手法を使用していると考えて下さい。

下の写真はリアウイングの加工過程です。折り曲げ方について多少注意が必要なので一応説明しておきます。まず下のように折り曲げます。



木工用ボンドで接着し、洗濯バサミで固定します。



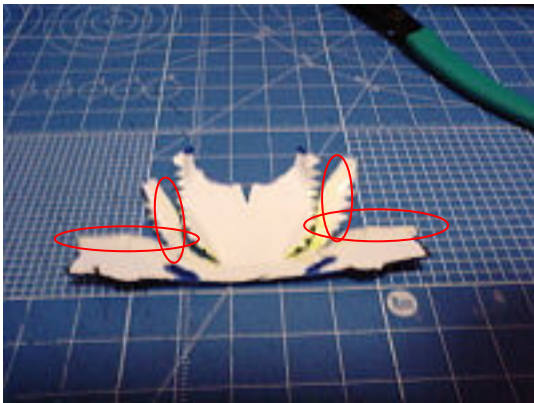
次にフロントを組み立てます。実際の CELICA の写真や私の作品写真などを参考にして適当にアールをつけて下さい。アールをつけるときは丸いものに巻きつけてやると上手く曲げやすいです。



接着のメインは両面テープで行います。他のテープは補強用です。



アールをつけて、のりしろを折り曲げて、接着箇所両面に両面テープ(赤丸部分)を貼った状態です。



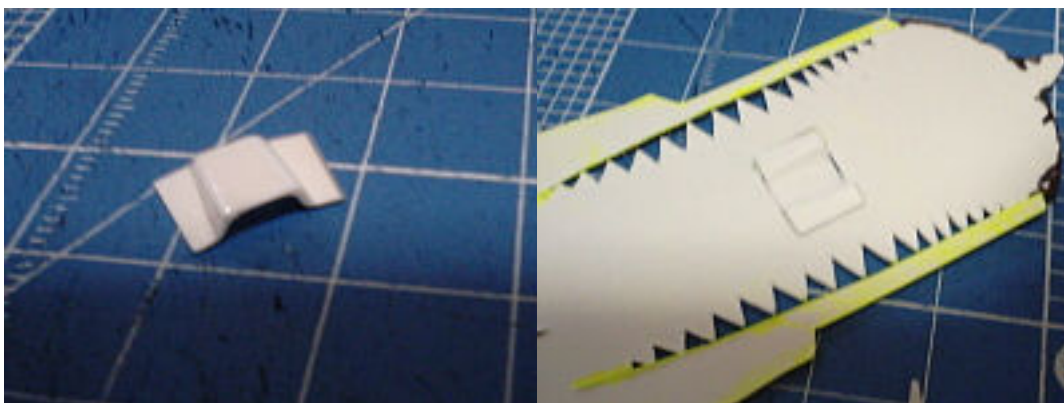
接着後、固定しておきます。



※両面テープで接着後、形状が固定してきたら、必ず裏からセロテープで補強しその形状を維持できるようにして下さい。それでも足りない場合には透明テープで表からも補強します。透明テープはラミネート加工した面に張るとほとんど目立たなくなりますが接着力はセロテープの方が良いのでこのような使い分けをしています。

次に車室・後部の組み立てを行います。

屋根のダクトを折り曲げ接着します。



サイド上部をアールさせた状態は以下のような感じです。



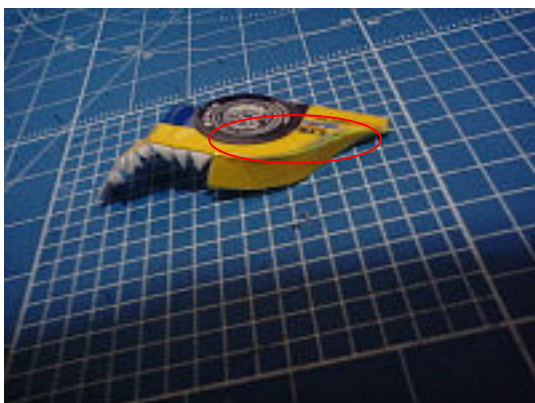
サイド上部と車室・後部部分を組み立てると以下ようになります。車室部分以外に赤丸の部分も接着しています。



サイド下部を折り曲げて接着します。



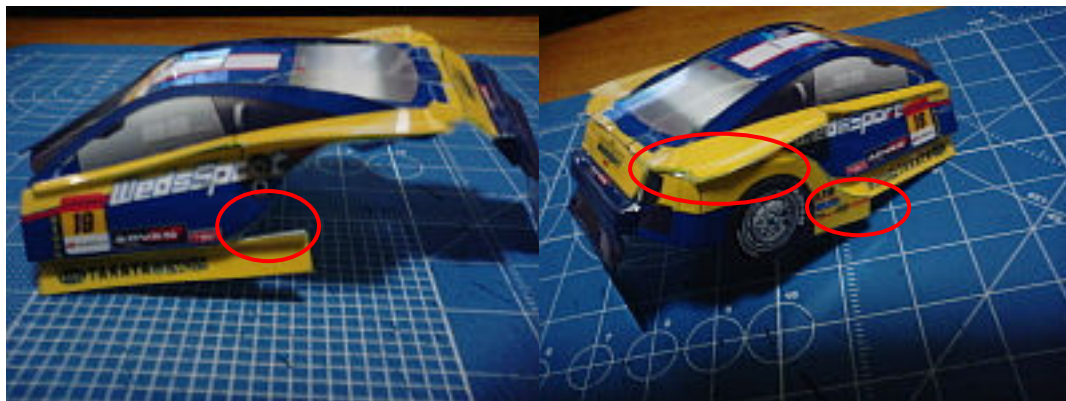
次にリアフェンダー・リアタイヤ周辺のパーツを組み立てます。



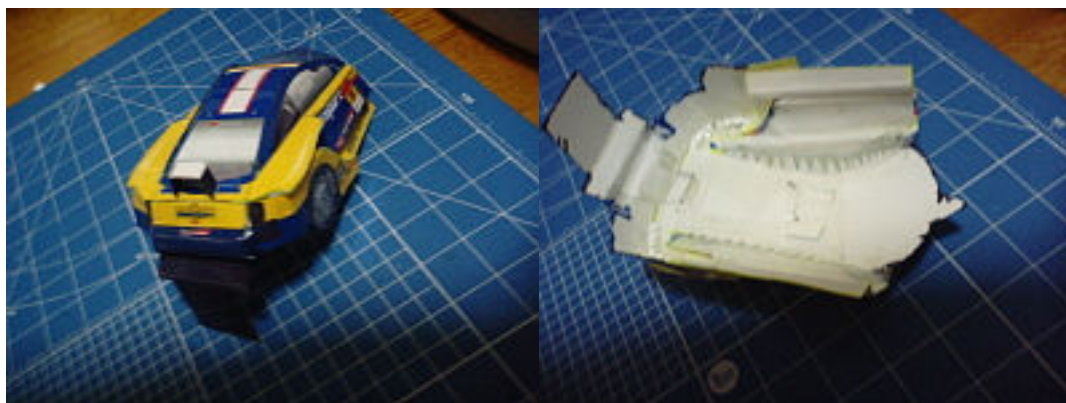
赤丸の部分はのりしろがない(すみません、つけられませんでした)ので、セロテープで裏から固定し、ドライヤーで形状固定を念入りに行います。透明テープによる表からの補強も

行くと良いです。

サイド下部ののりしろの不用な部分(左の写真の赤丸部分)を切り落としてリアフェンダー・リアタイヤ周辺パーツを接着します。接着箇所は右の写真の赤丸部分です。



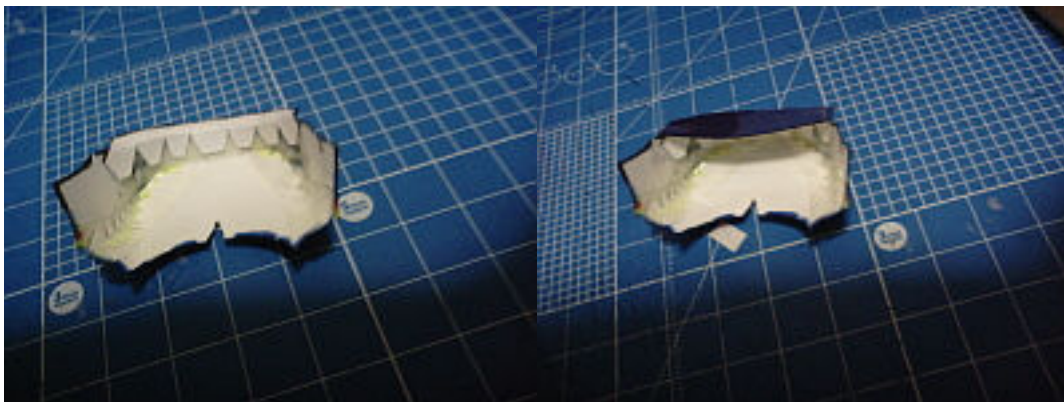
リアウイングのステーを後部の穴に差し込んでセロテープで止めてください。



カナードをフロントに接着します。穴に差し込みのりしろを曲げてセロテープで止めて下さい。



フロントウイングをフロントに接着します。またフロントウイングの下から補強用のパーツを接着します。



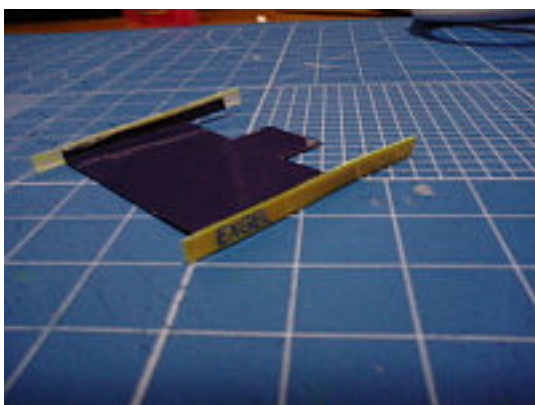
接着後、歪みを矯正するために以下のように重しを置いてドライヤーで形状固定を行って下さい。



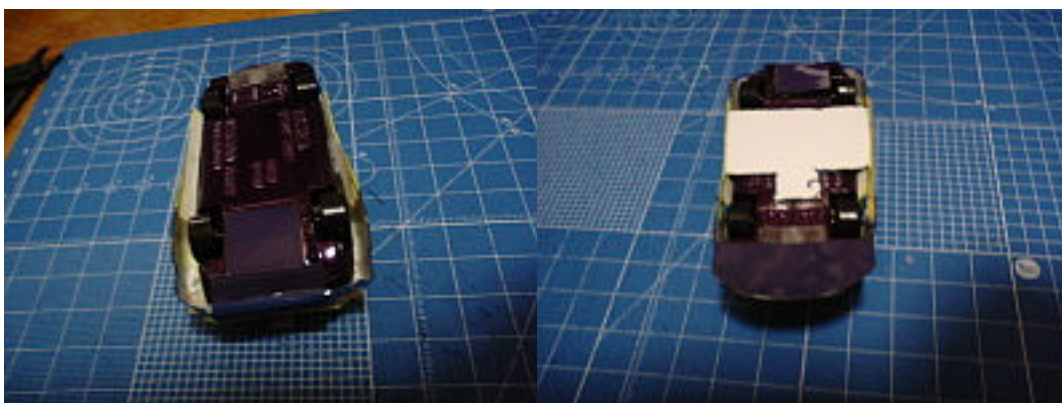
これでサイドスカート補強用パーツを折り曲げると以下のようなパーツが揃います。手前にあるのが土台のトミカ「光岡オロチ」です。オロチの屋根についているのは車高の隙間を埋めるために余った紙で作ったものですが、今回は屋根にダクトがあるため黒く塗っています。



サイドスカート補強用パーツとサイドスカートを接着します。



以下各種テープを使いトミカに固定していきます。



リアウイングを接着して完成です。後はちゃんと走るかどうか、ドライヤーの風を当ててみて下さい、それで走らなければ、ドライバーにより形状を微調整して下さい。

